

鹿児島市におけるリトミクの定着と普及に関する調査

Research on Dissemination and the Fixing of Eurythmics in Kagoshima

中 村 礼 香

Ayaka Nakamura

鹿児島女子短期大学

本稿では鹿児島市でのリトミクの定着を調査するとともに、より保育現場でリトミクの理解を深めてもらうことを目的とし、将来鹿児島県の保育現場を担う学生に昨年度初めてリトミク指導法を教授した後、その学生たちのリトミクの捉え方などを調査した。その質問紙調査を分析し、今後の授業改善に生かすべく模索した結果を報告する。

キーワード：リトミク，指導法，教授法

はじめに

鹿児島県には6校の保育者養成校があるが、本学の昨年度（平成24年度）の卒業生257名のうち247名（96.4%）は幼稚園・保育所・児童福祉施設といった免許を活用した職場に就職し、その多くが鹿児島県内に就職する。そのため、鹿児島県内のほとんどの幼稚園・保育所に今までの卒業生が就業している可能性が高く、本学の教育は鹿児島県内の幼児教育に大きな影響を与えと言える。特に幼児期において音楽は生活の中でも欠かせないものであり、授業では幼児曲の弾き歌いやピアノなどに力を入れている。それらに加え、2年次後期に必修科目として開講される「保育内容（表現Ⅲ）」という音楽の授業において、昨年度よりリトミクを導入した。鹿児島県においてリトミクの定着率は低く、後でも述べるが、多くの学生たちは短大に入学するまでリトミクという言葉を知ることがなかった。鹿児島県にリトミクの定着を図るためにも保育者養成校でリトミクを指導し、リトミクが何かということを経験してもらい、興味を持ってもらうことを最初の目的とし、授業にリトミクを導入した。そして、授業の最後でリトミクに関する質問紙調査を行い、その結果を分析した。本論では、その質問紙調査の分析について述べる。

1. 鹿児島市の幼稚園・保育所におけるリトミク指導の現状

研究の目的

鹿児島市内の保育の現場でどのくらいリトミクが定着しているかを把握する。

研究対象

平成25年8月2日に行われた鹿児島市教育委員会主催の幼稚園教諭・保育士が参加した講習会参加者60名。リトミク分野に関する講師は筆者である。

まず、参加者の保育者としての経験年数の分布は以下のようになる。（表1-1）幼稚園勤務の保育者の参加が多かった。

表1-1 講習会参加者の保育経験年数分布

| | 1年未満 | 1年以上 5年未満 | 5年以上 10年未満 | 10年以上 15年未満 | 15年以上 | 総計 |
|-----|------|--------------|---------------|----------------|-------|----|
| 保育所 | 5 | 6 | 1 | 1 | 0 | 13 |
| 幼稚園 | 5 | 16 | 11 | 7 | 8 | 47 |
| 総計 | 10 | 22 | 12 | 8 | 8 | 60 |

リトミクを勤務先で取り入れているかどうかの質問に、「はい」と答えた保育者は17名（28.3%）で、43名（71.7%）は取り入れていないということだった。また、10年以上15年未満の保育者が行っている割合が最も高く、5年未満の保育

者の割合が低かった。(表1-2)

表1-2 リトミックを保育で取り入れている人数の分布(保育経験年数別)

| | 1年未満 | 1年以上 5年未満 | 5年以上 10年未満 | 10年以上 15年未満 | 15年以上 | 総計 |
|-----|------|--------------|---------------|----------------|-------|----|
| いいえ | 9 | 18 | 7 | 3 | 6 | 43 |
| はい | 1 | 4 | 5 | 5 | 2 | 17 |
| 総計 | 10 | 22 | 12 | 8 | 8 | 60 |

リトミックを勤務先で行っているかという質問に対し、「はい」と答えた保育者のうち保育所勤務者は13名中2名で15.3%、幼稚園勤務者は47名中15名31.9%となっており、幼稚園のほうがリトミックを導入している割合が高かった。(表1-3)

表1-3 リトミックを保育で取り入れている人数の分布(施設別)

| | いいえ | はい | 総計 |
|-----|-----|----|----|
| 保育所 | 11 | 2 | 13 |
| 幼稚園 | 32 | 15 | 47 |
| 総計 | 43 | 17 | 60 |

また、リトミックを取り入れていない理由を尋ねたところ、次のような理由が挙がってきた。(図1-1)

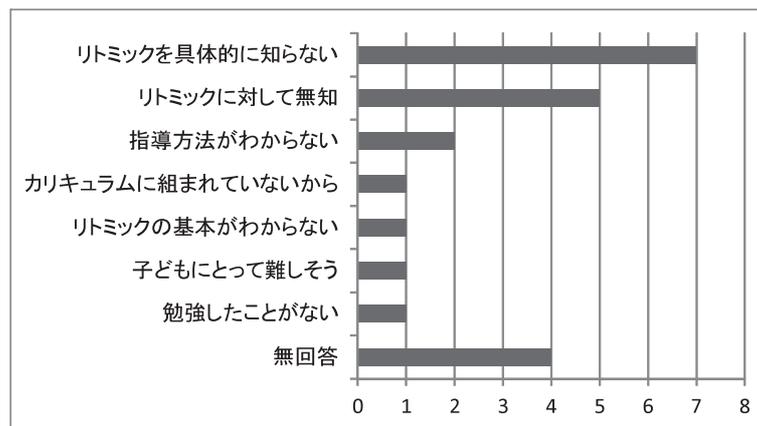


図1-1 リトミックを指導しない理由

「リトミックが何かを具体的に知らない」「指導方法がわからない」「勉強したことがない」という回答がほとんどで、勉強してみたいという意味はあっても、これまでそのような講習会を受ける機会がなく、もし指導方法がわかればやってみたいという意見が多かった。講習会を受けた結果、リトミックを子どもたちに指導したいと思いますかという質問に全員が「そう思う」と答えてくれた。また、この講習会を受けた感想をランダムに抽出し、以下に記載する。抽出方法として、本アンケート調査60枚に通し番号を付け、その5の倍数にあたる番号の感想を抜き出している。(図1-2)

- ①短大時代リトミックを教えて頂いて、とても楽しかった思い出があります。自分が受け持った子どもたちにもリトミックをしたいと思っていますが、まだまだ余裕がない状態です。でも、教員としての技量も身につけ、どんどん挑戦していきたいと思っています。(幼稚園・1年未満)
- ②とっても楽しくて、是非子どもたちとやってみたいと思いました。(幼稚園・15年以上)
- ③ピアノは弾けないのですが、練習して弾けるようになりたいと思いました。(保育所・1年未満)
- ④とても楽しい内容だったので、子どもたちと一緒にしたいと思いました。私がピアノが苦手なので不安ですが。(保育所・1年未満)
- ⑤絵本のストーリーに合わせてリトミックをしたことが初めてだったので、取り入れてみたい。とても楽しかった。(幼稚園・10年以上15年未満)

- ⑥身体を動かしながら音に合わせて、音を感じて表現する楽しさをぜひ子どもと一緒に味わってみたいと思った。(幼稚園・5年以上10年未満)
- ⑦もっと詳しく知りたい。低年齢児でもできるものをもっと知りたい。(幼稚園・1年以上5年未満)
- ⑧是非保育で活用したい。(幼稚園・1年以上5年未満)
- ⑨私自身ピアノが得意ではないので、ピアノを使った保育となると悩んでしまうのですが、これを機に取り入れてみたいと思います。(保育所・10年以上15年未満)
- ⑩音楽的な活動に対して、自分自身が苦手意識があるので、指導することにも抵抗があったのですが、具体的な進め方や声の掛け方も参考に、自園でもやってみたいと思い、勉強させていただきました。(幼稚園・1年以上5年未満)
- ⑪少しの時間を利用して取り入れてみることで、子どもも負担がなく楽しく参加できるのではないかと思います。(幼稚園・10年以上15年未満)
- ⑫今少しずつ園で取り入れていっているところなので、私もどんどん取り入れていきたい。(保育所・1年以上5年未満)

図1-2 講習会を受けての感想

今回の調査により、リトミックという言葉を知ったことがあっても、リトミックの理論や、実際の指導方法、目的などを知らない保育者が多く、また、ピアノが苦手なので取り入れにくいと感じている保育者が多いことがわかった。また、リトミックに関する講習会は鹿児島市では少ないようで、このように具体的に習う講習会は初めてであるという意見も見られた。

そこで、学生たちが保育の現場に出たときに実践できるように、音楽の授業の中にリトミックを数回取り入れることにした。その授業の最後にアンケート調査を行った結果を次で述べる。

2. 本学におけるリトミック指導後の学生の意識調査

2年生が必修科目として受講する「保育内容（表現Ⅲ）」は音楽の表現について学ぶ授業である。ハンドベルやブームワッカー、器楽合奏、ボディーパーカッションなど様々な音で表現活動を経験させる一方で、リトミックによる身体表現活動を導入した。鹿児島県内出身がほとんどである学生たちの中でのリトミックの認知度や、先入観のない状態で初めてリトミックを経験した学生たちがどのようにリトミックを感じたのか、保育者になる学生たちが将来現場でリトミックを取り入れるためには教員としてどのような指導が必要なのかを知り今後の教育に役立てるため、15回の授業回数中、14回目の授業終了後に質問紙調査を行った。

調査の概要

① 調査対象・調査期間

調査対象：平成24年度 本学児童教育学科2年生 254名

調査期間：平成25年1月18日（金）～1月24日（木）

② 方法

本学児童教育学科2年次に開講される「保育内容（表現Ⅲ）」（全15回）の受講生254名に14回目の授業時にアンケートを配布し回収した。

③ 調査結果と考察

〈質問1の結果〉

『保育内容（表現Ⅲ）』の授業を受ける前までに「リトミック」という言葉を知っていたか。

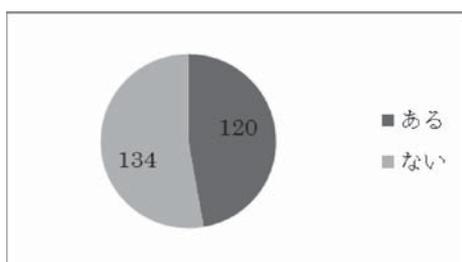


図2-1 大学入学前の「リトミック」の認知度

この質問に「ある」と答えた学生は120名(47%)であり、約半数は知っていたが、「リトミック」という言葉自体を聞いたことがない学生が多く、知名度の低さが伺える結果であった。

〈質問2の結果〉

「リトミック」をどこで知りましたか。

この質問は、質問1で「ある」と答えた学生120名への質問であった。複数回答可である。多くの学生が、実習先の幼稚園・保育所や短大の他の授業で知ったというように、短大に入学してから知ったことがわかる。本学の学生はほとんどが鹿児島県内の者であり、実家から通える場所で実習を行う。そのため、ここを出てきた保育所・幼稚園は鹿児島県内の園を指すことが多い。鹿児島市内の幼稚園・保育所に勤務している保育者に質問紙調査を行ったときは幼稚園でリトミックを取り入れている割合が高かったが、鹿児島県全体で見ると、保育所でもリトミックを取り入れていることがわかる結果であった。

実習先には卒園した園に行っている学生も多いが、自身が幼児期に体験したという答えが出なかったことから、学生が卒園した後、ここ10年ほどの間に取り入れられるようになってきているということが言えるのではないだろうか。

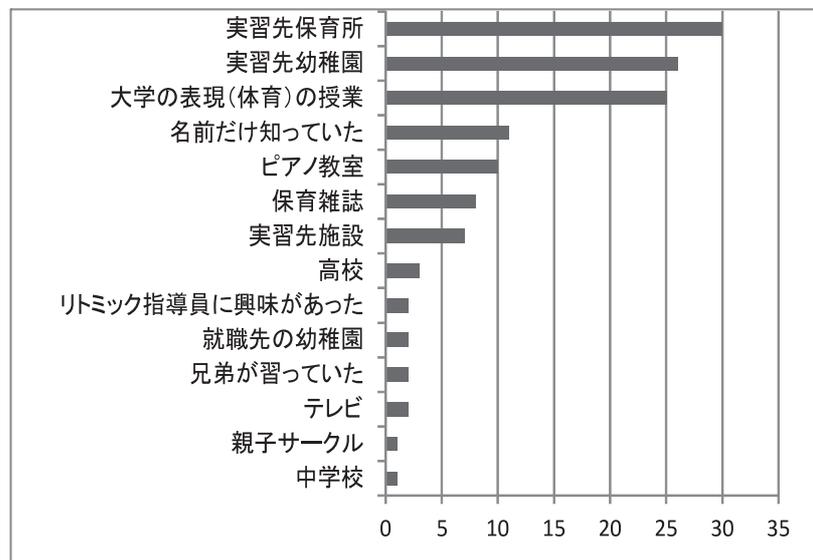


図2-2 リトミックを知ったきっかけ

〈質問3の結果〉

リトミックに興味を持ってましたか。

表2-1 リトミックへの興味の割合

| | | |
|--------------|-----|--------|
| a. とても持てた | 153 | 60.2% |
| b. 少し持てた | 95 | 37.4% |
| c. あまり持てなかった | 4 | 1.6% |
| d. 全く持てなかった | 1 | 0.4% |
| 無回答 | 1 | 0.4% |
| 合計 | 254 | 100.0% |

ほとんどの学生がこの授業で初めてリトミックを経験したが、リトミックへの興味を「とても持てた」「少し持てた」という回答が97.6%得られた。

〈質問4の結果〉

「リトミック」という言葉から想像する単語を5つ書いてください。

先行研究(武石, 2010)¹⁾を参考にし、単語をグルーピングし、集計した。254名中、無記入や記入漏れがあったもの

を除き、240名分を有効回答とした。1つの単語を1点とし、5点×240名=1200点で点数化を行い、点数の高いグループから記載した。

1位 身体表現 341点

表現・動く・体を動かす・動き・身体・表現力・ダンス・スキップ・動作・ジャンプ・手拍子・表現遊び・身体運動・止まる・走る・歩く・身体表現・その他

2位 音楽 280点

音楽・音・ピアノ・楽器・強弱・高低・歌・テンポ・歌う・音遊び・演奏・拍子・合奏・鳴らす・ボディーパーカッション・音色・メロディー・音楽表現・カノン・その他

3位 リズム 198点

リズム・リズム遊び・リズム感・リズムに乗る・拍・その他

4位 楽しい 108点

楽しい・楽しむ・楽しさ・笑顔・元気・遊び・ウキウキ・おもしろい・ワクワク・その他

5位 想像力等様々な力 94点

想像力・想像・イメージ・感性・発想力・集中力・聴く・感情・創造力・発見・判断力・その他

6位 物語 55点

絵本・物語・なりきる・動物・言葉・本・自然・花・魚・人・役割・その他

7位 自由 48点

自由・のびのび・解放・思った通りに動く・自分らしく

8位 コミュニケーション 35点

触れ合い・みんなで・友達・交流・コミュニケーション・集団・友達との輪・調和・友達と一緒に・共有・協力・つながり・その他

9位 保育 9点

親子・愛着・幼児・子ども

10位 即興演奏 7点

アレンジ・即興・アドリブ

その他 25点

難しい・簡単・その場・そのとき・空間・恥ずかしがらず・その他

リトミックから想像する単語項目点分布は以下(図2-3)のようになる。

先行研究では、保育者養成校における同じような質問紙調査の結果、1位：身体表現、2位：音楽、3位：リズム、4位：想像力等様々な力、5位：楽しいとなっており、本調査の結果とほぼ同じような結果になっている。

リトミックは音楽と身体運動に基礎を置いたメソッドである。また、リトミックはリズム運動、ソルフェージュ、即興演奏の3つの柱からなる。そのため1位：身体表現(341点/28.4%)、2位：音楽(280点/23.3%)、3位：リズム(198点/16.5%)となった結果は、リトミックの根幹となるキーワードを網羅しており、授業で概ね学生たちは体感することができたと言えるであろう。また今回は、絵本や物語を使ってリトミックを行ったこともあって、それらに関する言葉が

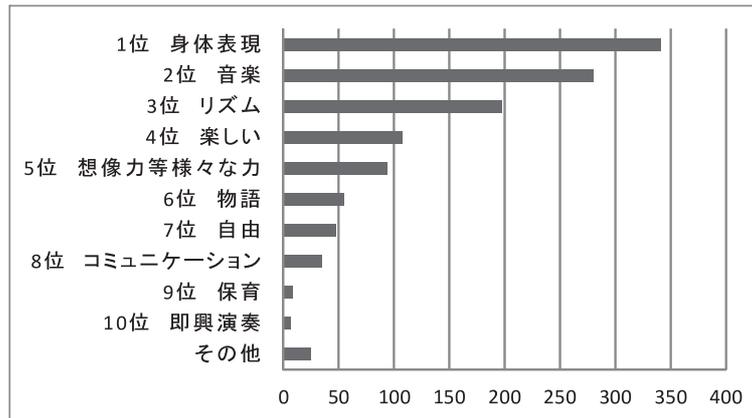


図2-3 「リトミック」という言葉から想像する単語

多かったことが特徴である。一方でリトミックでよく使われる、「即興」や「即時反応」「ダルクローズ」といった単語がほとんど出てこなかったことから、リトミックの理論の部分をもっと教えることの必要性を感じた。しかし、授業の中でハンドベルやブームワッカーなどを利用した即興アンサンブルや、ピアノで黒鍵のみを使って、例えば「元気なイメージ」「忍び足で歩くイメージ」「象のイメージ」という課題を出し、即興演奏をさせたりした。そういったことよりも、身体表現活動がはるかに印象として残っていることがこの結果から判明した。先にも述べたが、リトミックはリズム運動だけではないため、ソルフェージュや即興演奏についてももっと教授していくようにしていくべきと思われる。

〈質問5の結果〉

リトミックを実際に経験して、どのようなことを感じましたか。

表2-2 リトミックを経験して感じたこと

| プラス面 | | マイナス面 | |
|-------------------|----|-----------------------|----|
| 就職先で子どもに指導してみたい | 70 | 指導が難しそう | 40 |
| 子どもが喜びそう・楽しめそう | 53 | ピアノが難しそう | 36 |
| 大学生の自分がやってみて楽しかった | 27 | 教える側の技術が必要 | 10 |
| 表現力を身に付けられる | 19 | ピアノを弾きながら指示を出すのが難しそう | 4 |
| 音楽に興味を持つことができる | 17 | 伝えることが難しそう | 4 |
| 自由な表現をすることができる | 12 | 心が落ち込んでいるときは楽しめない | 1 |
| もっとリトミックのことが知りたい | 10 | リズムに乗れないことがあり難しかった | 1 |
| 自分でも指導できるようになりたい | 10 | 現場でリトミックの時間を作ることは難しそう | 1 |
| 子どもに良い影響を与えそう | 7 | | |
| 想像力を高められる | 5 | | |
| 感性が豊かになりそう | 5 | | |
| リズム感が養われる | 5 | | |
| コミュニケーション能力が上がりそう | 5 | | |
| 楽しく体を動かすことができる | 4 | | |
| 楽しく音楽に関わることができる | 4 | | |
| 子どもの発想力を引き出せる | 3 | | |
| 自分を表現する楽しさを知った | 3 | | |
| のびのびと表現できる | 2 | | |
| 個性を伸ばすことができる | 2 | | |
| 子どもの音楽能力が伸びそう | 1 | | |
| 笑顔になれる | 1 | | |

| | |
|----------------------|---|
| 心を解放できる | 1 |
| 音楽を心と体で感じることができる | 1 |
| リズム感や表現力を身につけられる | 1 |
| 音と動きが一体化していて面白い | 1 |
| イメージを音楽によって作りやすい | 1 |
| もっと早く勉強して実習でやってみたかった | 1 |
| 動きを否定せず全部肯定する | 1 |

最も多かったのが、就職先の幼稚園・保育所で幼児に指導してみたいという答えであった。その反面、指導が難しそう、ピアノが難しそうといった意見も多かった。授業で教えたことは、即興でピアノを弾くことももちろん伝えたが、現在リトミックの実践書が多く出版されているので、それらを使いながら、その活動の目的としていること、子どもへの指導法を伝えるとともに、幼児の歌唱教材を使って行うリトミック活動などを教授したつもりであった。ピアノが苦手な学生であっても、幼児の歌唱教材は2年間かけてたくさんの曲を弾いているので、それらを使って少しでも取り入れることはできるはずである。もっと多くの幼児曲を使ったリトミックの方法を教え、筆者が指導案例を作成して配布するとともに、学生たちにも考えさせ、指導案を作成させて実際に指導をさせるといったことの必要さを痛切に感じた。

考察

リトミックの大きな目的は“心と身体の調和”である。つまり、リトミックによって神経組織や筋肉組織をトレーニングすることで、心で感じたことを感じたままに身体で表現できるように、自分の肉体を自分のコントロール下に置くことができるようにすることを目指しているのである²⁾。ジャック＝ダルクローズは、楽譜の指示にただ従うのではなく自己の感じたままに表現することができる能力を育成することの重要性を示唆し、リトミック活動を従来の音楽の表現方法である歌や器楽、作曲などの活動を行う前に経験するべきだと主張した³⁾。この「自己の感じたままに表現する能力」というのは、音楽だけに留まらず、絵を書くときやダンスをするとき、また言葉で自分の考えたことや感じたことを伝えるときなど、表現する場面すべてにおいて必要な能力であろう。

鹿兒島市内の保育者への調査の結果、リトミックを導入していない園の方が多かった。その理由として、リトミックについて具体的に知らない、リトミックに対して無知という回答が最も多く、リトミックそのものを保育者に体験してもらい、良さを知ってもらう必要があること、そして指導法についてもっと広めていく必要があることを実感した。

また今回、学生への質問紙調査で、学生のリトミックの受け止め方を知ることができ、筆者の予想以上にリトミックの本質を身体で感じていることがわかった。これに理論や指導法をしっかりと教えることができれば、学生が保育者になったときに実践することができるかもしれない。しかし、本学の授業では、90分のうち45分がクラス全体の表現に関する演習で、45分はピアノの個人レッスンという形を取っている。この短い時間でリトミックの本質を伝えることは難しいかもしれないが、実践をしながら、その活動ごとのねらい、ピアノの弾き方、指示の出し方、指導案の作成方法などを伝えていくことで、学生が少しでも指導できると感じることができるようしていきたい。リトミックの指導は原則として即興演奏であるが、すべてを即興演奏で行うことは保育者にとって困難なことである。鹿兒島県内の幼稚園・保育所では、「うたとあそび」という幼児の歌唱教材の曲集が共通して使われている。これは、鹿兒島県内の保育者養成校では必ずピアノレッスンの教材として使うため、弾ける曲数にばらつきはあっても、全く弾けない保育者はいないであろう。そこで、この曲集に載っている幼児曲を使ったリトミックの指導法を今後順次考案し、今後の保育者対象の講習会や、本学における授業の中で指導法を伝え、鹿兒島においてリトミックの定着を図ることを課題としていきたい。また、学生にもいくつか幼児の歌唱教材を使った指導法を提示した後で、学生自身に自分が弾ける曲での指導案を考案させ、授業で実践させ、リトミックを身近なものと感じさせることができるように今後の授業でしていきたい。

引用文献

- 1) 武石宣子「リトミック教育—理論と実践—」相川書房, 2010 pp.185-227
- 2) チョクシー, L/エイブラムソン, R/ガレスピー, R/ウッズ, D「音楽教育メソードの比較 コダーイ, ダルクローズ, オルフ, C・M」(板野和彦訳) 全音楽譜出版社, 1994, pp.179
- 3) ジャック＝ダルクローズ, E「リトミック・芸術と教育」(板野平訳) 全音楽譜出版社, 1986 pp.113

参考文献

- エミール・ジャック＝ダルクローズ著「リズムと音楽と教育」(山本昌男訳) 全音楽譜出版社, 2003
 エミール・ジャック＝ダルクローズ著「音楽と人間」(河口道朗訳) 開成出版, 2011
 鹿児島市私立幼稚園協会編「うたとあそび」鹿児島市私立幼稚園協会, 1990
 フランク・マルタン他著「エミール・ジャック＝ダルクローズ」(板野平訳) 全音楽譜出版社, 1977

(2013年12月2日 受理)

| 保育内容 (表現Ⅲ) アンケート | |
|---|-----------------------|
| 1. 『保育内容 (表現Ⅲ)』の授業を受ける前までに「リトミック」という言葉を聞いたことがありましたか。 | ある ・ ない |
| ☆ 「ある」と答えた方にお聞きします。 | |
| 2. リトミックをどこで知りましたか。(実習先で指導されていた。子どもの頃ならった。自分の子どもが習っているなど) ※実習先で行っていたところは、幼稚園・保育園・施設などを教えてください。 | |
| ☆ 全員にお聞きします。 | |
| 3. 「リトミック」に興味が持てましたか | |
| a. とても持てた | |
| b. 少し持てた | |
| c. あまり持てなかった | |
| d. まったく持てなかった | |
| 4. 「リトミック」という言葉から想像する単語を5つ書いてください | ① ② ③ ④ ⑤ |
| 6. リトミックに対してどのようなイメージをもちましたか。(楽しそう・ピアノや指導が難しそう・子どもにもいい影響がありそう・自分には指導できなさそう・もっとリトミックのことが知りたい・就職先でやってみたいなど) | |
| 6. リトミックを経験することで、どのような能力が伸びると思いましたが。 | |